

# 平成28年度 学校経営全体構想

**県基本目標** とくしまの教育力を結集し 未来を創造するたくましい人づくり  
**市教育理念** 共に生き、豊かな心で個性輝く人づくり

## 学校教育目標

- (1) 津乃峰町に深い愛着と誇りをもち、自主的・自立的・創造的能力に富んだ児童を育てる。
- (2) 基本的人権を尊重し、人間性豊かで心身ともに健康でたくましく生きぬく児童を育てる。

## 研究主題

聴き合い、学び合い、認め合う子どもの育成

— 主体的・協働的に学ぶ教師集団（アクティブ・ラーナー）による授業改善の在り方 —

### めざす 学校像

- 楽しい学校
- 美しい学校
- 生き生きとした学校

### めざす 子ども像

- 自分から学ぶ子
- 明るく助け合う子
- やりぬく子
- しょうぶな子

### めざす 教職員像

- 子どもを中心に据え、子どもと共に歩む教職員
- 研修に努め、創意工夫を絶やさぬ教職員
- 互いに補い合い協力し合う教職員

## 学校経営の基本方針

- (1) 個に応じたきめ細かな指導により、基礎・基本の確実な定着を図り、子どもに「生きる力」をつける。
- (2) 声かけや終めること、活躍する場を多く作ることににより自尊感情を育て、子どもの規範意識を高める。
- (3) 学校・家庭・地域社会との相互連携により、地域から信頼され、安心・安全な学校を目指す。
- (4) 教職員がお互いに補い合い協力し合うことにより、津乃峰小学校全体の教育力を高める。

## 基本方針を達成するための具体的な活動

- (1) 学習指導では、丁寧で分かる授業を展開し、一人一人の子どもの学力向上を図る。
- (2) 特別支援教育では、正しい認識と理解のもと、個別の指導計画に基づき、一人一人の子どもの実態に応じた適切な指導を推進する。
- (3) 学級経営では、常に立場の弱い子どもを中心に据え、「いじめ」や「差別」を絶対に許さない毅然とした態度とともに、子どもの生活実態に目を向け、子どもの「なかまづくり」を大事にする。
- (4) 学校経営では、家庭や地域と常に連携し、避難訓練や避難所運営等の防災・減災の取組を推進する。
- (5) 教職員は、決して一人で悩まず「ホウ・レン・ソウ」が自然にできる風通しのよい職員室を醸成する。また、副担任制を導入し、専門性を生かして能力を発揮しながら「チーム学校」を実践できる教職員集団を作る。

## 学校スローガン「子どもたちの命と未来(夢)を大切に育てる津乃峰小学校」

### 本年度の重点事項

#### 授業のよく分かる学校

- 基本的生活習慣の定着及び家庭教育力の支援
  - 生活ふり返りカードの活用
  - 家庭学習の手引きの活用
  - 自主学習の奨励
- 基礎・基本の定着
  - 朝の活動「はげみタイム」、帰りの活動「どんどんタイム」の充実
  - 聞き方&話し方「あいうえお」の活用
  - チャレンジコーナーの充実
  - 立腹教育の推進
  - ノート指導の充実
  - 国語辞典の活用
- アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善
  - 思考ツールの活用
  - 話し合い活動の充実
  - 体験活動・表現活動・探究活動の充実
  - タブレット・PC等ICTの活用
- ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境の整備
  - 環境の構造化・板書・発問の工夫
  - 特性に応じた教材教具、提示の工夫
  - 合理的配慮の整備（TI指導、通級指導教室、特別支援学級等での学び）

#### いじめを許さない学校

- 「津乃峰小学校いじめ防止基本方針」の周知・徹底
  - アンケート調査を年3回実施
  - 保護者、地域と連携した早期発見・早期対応のための取組
  - 関係諸機関との連携強化
- 自他ともに大切にする児童の育成
  - 人権教育・道徳教育の推進（自尊感情・自己肯定感の育成、承認・賞賛、規律ある生活の定着）
  - 特別支援教育の推進（全教職員で取り組む支援体制づくり）、インクルーシブ教育の推進
  - 異年齢班（ふれあい班）活動の充実
  - 学級経営の充実（「聴く」ことの徹底、人間関係づくり、居場所づくり）
  - 全児童を全教職員で育てる体制づくり
- 矛盾に気づき、問題を解決しようとする児童の育成
  - 多様な教材を通じた様々な人権課題についての学びの充実
  - 交流活動の充実（外部講師の招聘、識字学級への参加等）



#### 防災に強い学校

- 主体的に行動する防災教育の推進
  - 緊急地震速報システムを利用した避難訓練の実施
  - 児童の発達段階等を考慮し、系統性のある年間計画の作成
  - 防災、減災の知識や技術を地域に発信する活動
  - チャレンジ防災クラブの児童による自主的な活動
- 地域に愛着や誇りを持つ児童の育成
  - 地域の被災人材ネットワークの構築とサポート体制の強化
  - 防災マップづくり（Part3）と津乃峰町内への配布
  - 津峯山オリエンテーリングでの地域再発見（地域ボランティアとの連携）
- 防災対策推進員を中心としたPTA活動の推進
  - 保護者と連携した「引渡し訓練」の実施
  - バス（第3次避難場所）を利用した「避難所宿泊体験」の実施
  - 学校再開及び避難所運営についての研修とその構築

## 児童スローガン「あいさつ日本一」「えがお日本一」「おそうじ日本一」